

平成26年度 岡山県農林水産総合センター「農業研究所」 機関評価評価票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 0人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1「21おかやま農林水産プラン」で目指している儲かる農業の確立のため、研究課題をブランド強化等の4つの分野に重点化し、消費者ニーズに対応した新品種の育成・新技術の開発に取り組んでおり、運営方針は適切である。 2限られた研究資源を前提に機関の特性を活かした焦点を絞った課題設定が出来ており、大いに評価できる。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 1人	優れている 0人	妥当 3人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1職員や予算が限られる中、数多くの課題に取り組み、適切に対応できている。また、外部資金を積極的に獲得して活用していることは評価できる。 2県の財政事情を踏まえた人員配置と研究資金の配分方針は理解できるが、中長期的な戦略の下、研究体制をより強化するため、適切な人員配置と予算配分が行われることを期待する。 3新品種育成や技術確立にしっかり取り組むためには、よりゆとりを持った人員配置と研究期間の設定が必要である。 4研究予算の一部を生産物の財産収入に依存する状況は改善の余地がある。					
3 施設・設備等	非常に優れている 0人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1施設・設備等の老朽化対策は緊急の課題であり、限られた予算の中で、優先度に応じた整備が行われている。また、高額な高度精密機器については、文部科学省の補助金を積極的に活用してその整備に努めており、評価できる。 2施設修繕や備品整備については、今後とも予算確保を含め計画的に整備する必要があるが、他機関との連携を通じて、相互に研究資源を活用するなどの対応も必要と考えられる。 3遺伝子組み換え等の問題も起こっており、遺伝子分析機器や各種測定機器等の設備を整備することが重要である。 4建物の耐震化については早急な検討が望まれる。					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1職員や予算が限られる厳しい状況の中、研究成果を着実に発出しており、学術論文や学会発表も積極的に行うなど、研究成果の活用が図られている。 2成果はホームページでの公表や普及指導センター等との連携を通じて栽培現場に迅速に普及・還元されており、農家への貢献度は高い。 3今後とも、得られた成果は、あらゆる機会をとらえてより積極的に広くPRすることが大事である。 4解説指導記事を積極的に執筆しており、農家にとって重要な情報になっている。					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等の実施状況	非常に優れている 2人	優れている 4人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1各種相談等への対応は研究開発業務と並んで重要な業務であり、普及指導センターを介して持ち込まれた非常に多くの診断や技術相談、電話依頼によく対応できている。 2普及指導センターと連携して研究成果の現場への対応や技術的助言等が適切に出来ており、成果を還元するシステムがうまく機能している。 3今後とも農家から期待されるようにがんばってほしい。					

6 人材育成	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
--------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

- 1 農林水産省主催の研究会や研修会、県主催の研修会、職場内での研究打合せ会、学会などへの参加を通して、現場指導や技術支援にも対応できる人材の育成を図っており、スキルアップや栽培技術の継承にも努めている。
- 2 若手研究者の育成は次第に困難になるものと予想されるため、中長期的な人材育成方針に沿って、中長期の国内外留学・派遣などについても検討する必要がある。

7 他機関との連携	非常に優れている 0人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
-----------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

- 1 他機関との連携は、外部資金確保、人材育成、施設の効率的利用という点で重要であるが、よく対応しており、多くの共同研究課題にも取り組むなど評価できる。今後、研究環境はさらに厳しさを増すものと予想されることから、一層の連携強化を期待する。
- 2 現在、岡山大学を含む3つの機関との包括連携協定が結ばれているが、県立大学や岡山理科大学等、県内の他の大学との連携が望まれる。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
-------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

- 1 多くの視察を受け入れており、地域や県民に十分貢献していると評価できる。特に、農家にとっては研究所の視察は大いに参考になると聞いている。
- 2 新聞、テレビ、ラジオ等を活用して情報発信に努めており、特に地元新聞への掲載が多い。また、ホームページによる情報発信を有効な媒体として活用しており、アクセス数の増加は評価できる。
- 3 今後は県産農産物の消費拡大につながるような取組みが望まれる。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 0人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
--------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

- 1 組織体制等への指摘については、予算・人員が減少する中で予算の獲得に努めると共に、課題の重点化を図って研究成果に結びつけており評価できる。
- 2 普及等との連携への指摘については、連携強化を実用化に繋げており、更なる推進に期待したい。
- 3 施設・設備への指摘については、老朽化が進む設備に関して修繕と整備に努めており、また、各研究機関との連携を進める中で備品の相互利用を進めており評価できる。
- 4 技術指導に関しても十分に対応しているおり、情報発信に関してはホームページを改善し、県民に向けてのわかりやすい情報発信に努めている。

総合評価	非常に優れている 0人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

- 1 限られた予算と人員構成の中、重点分野を中心に研究の遂行と研究成果の普及に努めており、外部資金の獲得、技術相談、人材育成、地域貢献等、研究所の役割を十分に果たし、高く評価できる。予算や人員が限られる中、今後とも、他機関との連携による効率的な運営が望まれる。
- 2 研究開発は、研究者による継続的な研究活動の蓄積が行われることによって、優れた研究成果の創出に結び付くことになる。このため、計画的な人材育成を行うとともに、中長期的な戦略の下で、研究活動の強化につながるよう人員配置と予算配分が行われることを期待する。
- 3 農業をめぐる情勢がますます厳しくなる中、研究所に対する生産者の期待や信頼は大きい。引き続き農家の所得向上に向けて、頼りになる研究所として着実に成果を挙げていくとともに、研究所の取り組みについて県民に広く周知することを望む。
- 4 県全体の農業政策として戦略的な視点がますます重要になっており、マーケティング部のような部署を中心に横の連絡や地元の民間企業との連携を更に進める必要がある。
- 5 生産者や消費者のみならず、地元流通業者等の実需者を含めたニーズに対応した研究成果の発信を望む。また、果物を始めとして農産物の消費拡大につながるような情報の発信方法を検討することも重要と考える。